

広島県立<sup>もん じょ かん</sup>文書館事業年報

第15号（平成15年度分）

広島県立文書館

# 目 次

I 概 要 .....	3
1 沿革及び経過 .....	3
2 組織及び職員構成（平成15年4月1日現在） .....	6
3 文書館運営予算（年度別当初予算） .....	7
4 施設・設備 .....	7
II 事業報告 .....	10
1 平成15年度概観 .....	10
2 収集 .....	11
3 利用 .....	15
4 展示・普及啓発 .....	17
5 業務日誌 .....	18
III 法律・条例・規則 .....	20
1 公文書館法 .....	20
2 広島県立文書館設置及び管理条例 .....	20
3 広島県立文書館管理規則 .....	21
4 広島県文書等管理規則（抜粋） .....	22
5 広島県文書等管理規則（抜粋） .....	22
（利用案内） .....	23

## I 概要

### 1 沿革及び経過

昭和34年11月	「公文書散逸防止について」日本学術会議が勧告
40年1月	文書館設定期成会(代表 福尾猛市郎広島大学教授)が組織され,関係方面への運動を開始
41年3月	廃棄行政文書の選別収集を開始
12月	「広島県沿革資料の保存施設に関する請願」(芸備地方史研究会などの連名)を県議会で採択
43年4月	県史編さん事業を開始
55年10月	県立文書館建設調査研究協議会が発足(会長 今堀誠二広島女子大学学長)
12月	「広島県立公文書館早期設置について」の請願(広島県郷土史研究団体連絡協議会)を県議会で採択
57年2月	県立文書館建設調査研究協議会が知事に「広島県立文書館基本構想についての報告書」を提出
59年3月	県史編さん事業が完了(昭和43年から16年間,全27巻)
12月	広島大学跡地利用研究協議会(会長 荒木武広島市長)が跡地利用計画の最終案を決定 県立文書館,県立図書館,県立産業技術交流センターによる複合施設(仮称情報プラザ)として建設することが決定
60年3月	情報プラザ(仮称)建設基本計画を策定
10月	基本設計・実施設計に着手に着手
61年3月	実施設計完了 用地を取得(10,015.78㎡)
4月	総務部総務課に県立文書館開館準備要員を配置(旧鯉城会館内で勤務)
6月	建設工事等の請負契約を県議会において議決
7月	情報プラザ(仮称)起工式
62年5月	「広島県情報プラザ」として名称を正式決定
63年3月	広島県立文書館設置及び管理条例を県議会において議決 広島県情報プラザ完成
4月	総務部総務課に県立文書館開館準備担当を設置(広島県情報プラザ(文書館)で勤務)
8月	市内に分散保存していた資料等を文書館に移転
10月	県立文書館開館 広島県情報プラザ(文書館)落成式挙行 開館記念特別講演会を広島県情報プラザで開催
平成元年2月	県立文書館地方調査員(12名)を委嘱
10月	第15回全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国大会を開催
5年10月	開館5周年記念講演会を広島県情報プラザで開催
6年4月	広島県立文書館地方調査員を広島県立文書館文書調査員に改め,12名を18名に増員
6月	第6回都道府県・政令指定都市公文書館長会議を広島県情報プラザで開催
10年5月	開館10周年記念パネル展を広島県情報プラザで開催

## (1) 目録の刊行

発刊年月	目 録 名
昭和63年9月	行政文書簿冊目録全4冊 広島県立文書館複製資料目録 第1集 広島県立文書館複製資料目録 第2集
平成2年3月	広島県立文書館複製資料目録 第3集
6年3月	広島県立文書館収蔵文書目録 第1集
6年6月	広島県立文書館収蔵文書目録 第2集
8年3月	広島県立文書館収蔵文書目録 第3集 広島県立文書館複製資料目録 第4集
9年3月	広島県立文書館収蔵文書目録 第4集
10年3月	広島県立文書館収蔵文書目録 第5集
11年3月	広島県立文書館収蔵文書目録 第6集
12年3月	広島県立文書館収蔵文書目録 第7集
14年3月	広島県立文書館収蔵文書目録 第8集

## (2) 紀要, 史誌, 資料集等の編さん, 刊行

発刊年月	目 録 名
昭和63年3月	広島県戦災史
平成元年3月	広島県立文書館紀要 第1号
2年3月	広島県立文書館紀要 第2号
3年3月	「広島県移住史」資料編 資料集「吹寄青枯集」
5年10月	「広島県移住史」通史編
6年7月	広島県立文書館紀要 第3号
7年3月	資料集「宮本愚翁日記抜粋・恩ほうし」
9年3月	広島県立文書館紀要 第4号
11年3月	広島県立文書館紀要 第5号
13年3月	広島県立文書館紀要 第6号
15年3月	広島県立文書館紀要 第7号
16年3月	資料集「村上家乗 慶応二年」

## (3) 広島県立文書館だよりの発行

号	発行年月	号	発行年月	号	発行年月	号	発行年月	号	発行年月
1	平成2年9月	6	平成7年9月	11	平成10年3月	16	平成12年7月	21	平成15年1月
2	3年7月	7	8年3月	12	10年9月	17	13年1月	22	15年7月
3	5年9月	8	8年9月	13	11年3月	18	13年7月	23	16年1月
4	6年8月	9	9年3月	14	11年9月	19	14年1月		
5	7年3月	10	9年8月	15	12年3月	20	14年7月		

## (4) 展示の実施状況

名 称	期 間	展 示 テ ー マ	観覧者数
開館記念特別展	昭和63年10月27日～11月26日	古文書に見る安芸・備後の南北朝動乱と情報	1,566人
第1回企画展	平成元年4月3日～8月5日	広島城下の町組と商人文化	1,298人
平成元年度特別展	元年9月6日～10月7日	古文書に見る瀬戸内の海上交易と水軍	1,423人
文書館収蔵文書展	元年11月15日～3月15日	明治期広島の政治	2,443人
文書館収蔵文書展	2年6月15日～9月14日	江戸時代の武家文書	2,561人
第2回企画展	2年10月15日～12月14日	近世尾道の発展と商人	1,200人
第3回特別展	3年7月1日～9月21日	写真と文書で見る広島県移住史	1,398人
第3回企画展	4年5月15日～6月13日	資料で見る広島県の鉄道のあゆみ	661人
文書館収蔵文書展	4年10月12日～11月21日	渋谷家文書の世界	751人
文書館収蔵文書展	5年10月1日～12月11日	江戸時代の村方文書	1,013人
文書館収蔵文書展	6年10月24日～12月24日	江戸の旅人たち	1,077人
第4回企画展	7年7月21日～9月20日	町と村の戦時体制	1,135人
第4回特別展	8年7月29日～9月7日	不動院文書展	1,134人
第5回特別展	9年9月29日～10月25日	毛利元就文書展	1,177人
文書館収蔵文書展	10年9月28日～11月28日	古文書で綴る地方都市商人の世界	923人
文書館収蔵文書展	11年10月25日～12月22日	黒瀬町賀家文書展	561人
文書館収蔵文書展	12年10月23日～12月22日	賀屋家の人々～明・忠恕・鎌子・興宣～賀屋家文書展	604人
文書館収蔵文書展	13年10月22日～12月27日	広島戦後の記録 1945-1970	711人
第5回企画展	14年7月26日～10月26日	戦中・戦後の援護 戦争犠牲者への追悼と援護	716人
第6回企画展	15年8月4日～9月27日	路面電車が語るヒロシマ 写真と資料で見る創業・被爆・復興	1,043人
文書館収蔵文書展	16年3月1日～4月30日	明治期地方名望家のあゆみ 佐伯郡玖島村八田家の歴史と文書	683人

(5) 郷土史講座(文書館講演会)の実施状況

テ ー マ	開 催 日	場 所	講 師		受 講 者 数
			氏 名	所 属	
明治時代の広島	平成2年2月10日	文書館	松下孝昭	文書館 研究員	151人
江戸時代の土地制度	2年8月31日	文書館	青野春水	広島大学 教授	107人
県北の農村問題と米騒動	2年10月25日	庄原市	天野卓郎	広島経済大学 教授	75人
芸備の学問	2年12月12日	文書館	頼 祺一	広島大学 教授	101人
呉の海軍と戦後の諸問題	3年2月28日	呉 市	高橋 衛	広島大学 教授	136人
「広島県移住史」資料編を読む	3年7月19日	文書館	安藤福平	文書館 研究員	106人
広島島の鉄道のおゆみ	4年6月6日	文書館	松下孝昭	文書館 研究員	104人
備後・安芸真宗の展開と照林坊	4年8月29日	三次市	福間光超	龍谷大学 教授	124人
瀬戸内の水軍と豪商渋谷氏	4年10月31日	文書館	松井輝昭	文書館 研究員	143人
安芸国分寺の瓦と伽藍配置 戦国大名と国衆	5年3月6日	東広島市	松下正司 岸田裕之	比治山女子短大 教授 広島大学 教授	210人
村の生活と文書	5年12月4日	文書館	西村 晃	文書館 研究員	250人
三原市芸備の荘園と(名みょう)の祭り	6年10月22日	三原市	藤井 昭	広島女学院大学 教授	131人
江戸の旅人たち	6年12月4日	文書館	西村 晃	文書館 研究員	200人
町と村の戦時体制	7年8月5日	文書館	安藤福平	文書館主任 研究員	80人
中世の廿日市	7年11月25日	廿日市市	秋山 伸隆	広島女子大学 助教授	110人
安国寺恵瓊 えけいと不動院	8年8月3日	文書館	松井輝昭	文書館主任 研究員	264人
中世尾道と毛利氏	9年3月29日	尾道市	本多博之	安田女子大学 助教授	150人
毛利元就の手紙について	9年10月11日	文書館	松井輝昭	文書館主任 研究員	218人
長州戦争と大竹	10年2月28日	大竹市	三宅紹宣	広島大学 教授	181人
商家の経営活動と文書	10年11月7日	文書館	西向宏介	文書館 研究員	149人
安芸人氣質	11年3月20日	文書館	有元正雄	広島経済大学 教授	111人
古文書整理という仕事	11年12月4日	文書館	長澤 洋	文書館 研究員	70人
賀屋家の人々 明治の女性賀屋鎌子	12年12月9日	文書館	西村 晃	文書館副主任 研究員	66人
復興から高度経済成長期の広島	13年12月8日	文書館	数野文明	文書館副主任 研究員	79人
戦中・戦後の援護 戦争犠牲者への追悼と援護	14年9月21日	文書館	安藤福平	文書館総括 研究員	40人
明治期地方望家のあゆみ 佐伯郡玖島村八田家の歴史と文書	16年3月13日	文書館	西向宏介	文書館副主任 研究員	90人

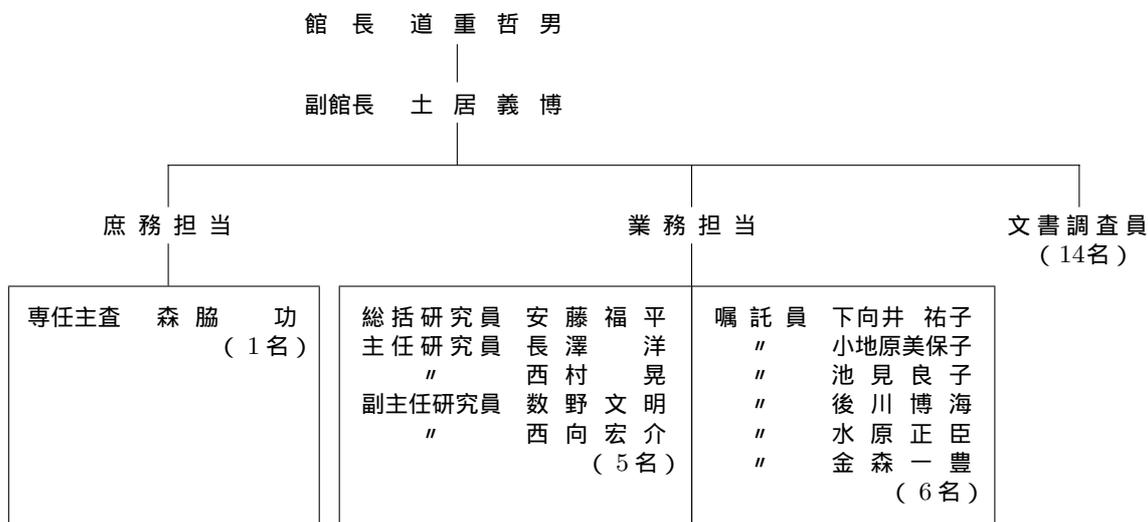
11年度より「文書館講演会」

(6) 古文書解読講座の実施状況

区 分	期 間	参 加 者 数	備 考
古文書解読入門講座	平成2年9月8日~平成3年2月23日	50人	12回連続
古文書解読入門講座	3年6月8日~ 3年11月30日	85人	12回連続
古文書解読中級講座	3年7月18日~ 4年6月18日	27人	月1回
古文書解読入門講座	4年6月13日~ 4年11月28日	84人	12回連続
古文書解読中級講座	4年7月16日~ 5年6月18日	71人	月1回
古文書解読入門講座	5年6月12日~ 5年11月27日	84人	12回連続
古文書解読中級講座	5年7月15日~ 6年6月23日	40人	月1回
古文書解読入門講座	6年6月11日~ 6年11月26日	84人	12回連続
古文書解読中級講座	6年7月28日~ 7年6月22日	29人	月1回
古文書解読入門講座	7年6月10日~ 7年12月2日	85人	12回連続
古文書解読中級講座	7年7月27日~ 8年6月27日	23人	月1回
古文書解読中級講座	8年7月25日~ 9年6月26日	25人	月1回
古文書解読入門講座	9年6月14日~ 9年11月22日	84人	12回連続
続古文書解読入門講座	9年7月24日~10年6月25日	28人	月1回
古文書解読入門講座	10年6月13日~10年10月31日	78人	10回連続
続古文書解読入門講座	10年7月23日~11年6月24日	26人	月1回
古文書解読入門講座	11年6月12日~11年10月30日	83人	10回連続
続古文書解読入門講座	11年7月22日~12年6月22日	35人	月1回
古文書解読入門講座	12年6月17日~12年10月28日	83人	10回連続
続古文書解読入門講座	12年7月27日~13年6月28日	37人	月1回
古文書解読入門講座	13年6月9日~13年10月27日	59人	10回連続
続古文書解読入門講座	13年7月26日~14年6月27日	37人	月1回
古文書解読入門講座	14年6月8日~14年10月26日	57人	10回連続
続古文書解読入門講座	14年7月27日~15年6月21日	23人	月1回
古文書解読入門講座	15年6月14日~15年10月25日	61人	10回連続
続古文書解読入門講座	15年7月19日~16年6月19日	35人	月1回

## 2 組織及び職員構成（平成15年4月1日現在）

- (1) 職員定数 14名（正規職員7名，非常勤職員7名）  
 (2) 組織及び職員名簿



### (3) 文書調査員の委嘱

ア 県内における歴史的資料の所在，保存状況を把握するため，次のとおり委嘱した。

石田雅春	井東茂夫	大久保延子	折田恵子	加藤克己	兼田明昌
菅 脩二郎	菅野晃行	得能清一	新田成美	林 紀典	藤井岑雄
三上 啓	六郷 寛				

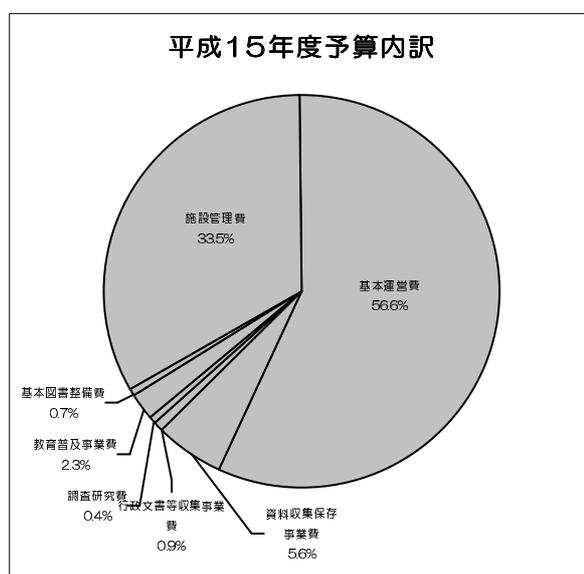
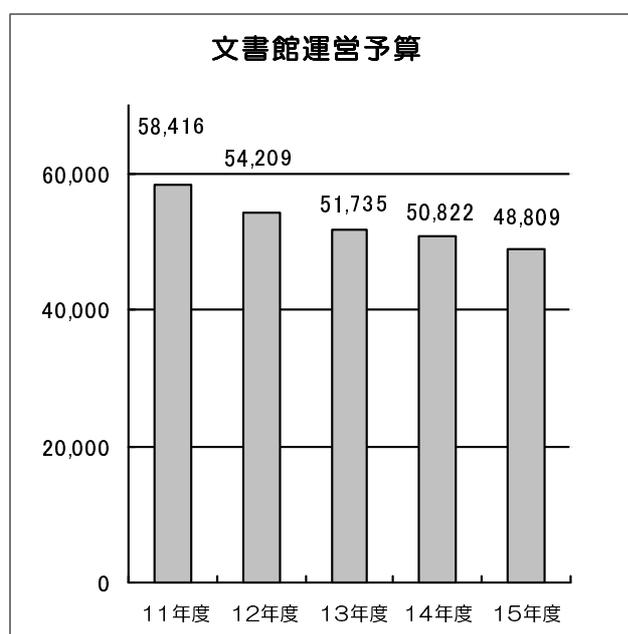
イ 5月27日（火）に文書調査員会議を開催した。

- 議題 1 平成15年度事業概要及び事業計画について  
 2 文書所在調査と調査員業務について  
 3 自由討議

### 3 文書館運営予算 (年度別当初予算)

(単位：千円)

区 分	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
基本運営費	27,592	27,431	28,087	28,393	27,646
資料収集保存管理事業費	7,368	4,517	4,609	3,323	2,705
明治・大正・昭和期の行政文書等収集事業費	724	706	642	542	434
調査研究費	48	841	58	611	211
教育普及事業費	1,484	1,354	1,215	1,137	1,119
基本図書整備費	800	1,000	600	450	350
施設管理費	20,400	18,360	16,524	16,366	16,344
計	58,416	54,209	51,735	50,822	48,809



### 4 施設・設備

県立文書館 (総務企画部所属) は、県立図書館 (教育委員会所属)、県立産業技術交流センター (商工労働部所管) とともに「広島県情報プラザ」の中に配置されている。

#### (1) 情報プラザ

所在地	広島市中区千田町三丁目7番47号		
用途地域	住居地域 (建ぺい率60%, 容積率200%)		
防火指定	準防火地域		
敷地面積	10,015.78㎡		
建築面積	5,666㎡		
延床面積	23,674㎡	内訳	
		文書館	2,530㎡
		図書館	6,190㎡
		産業技術交流センター	2,000㎡
		交流フロア	2,880㎡
		共用部分	10,074㎡

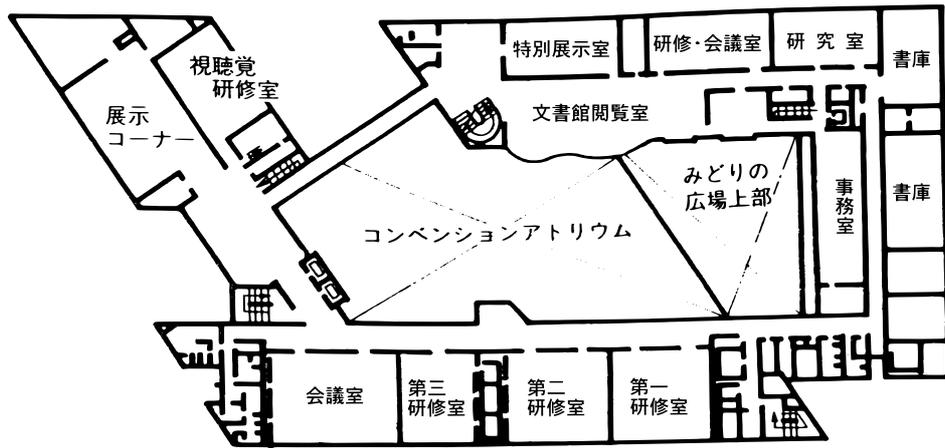
## (2) 文書館

## ア 施設（主要な専用部分のみ）

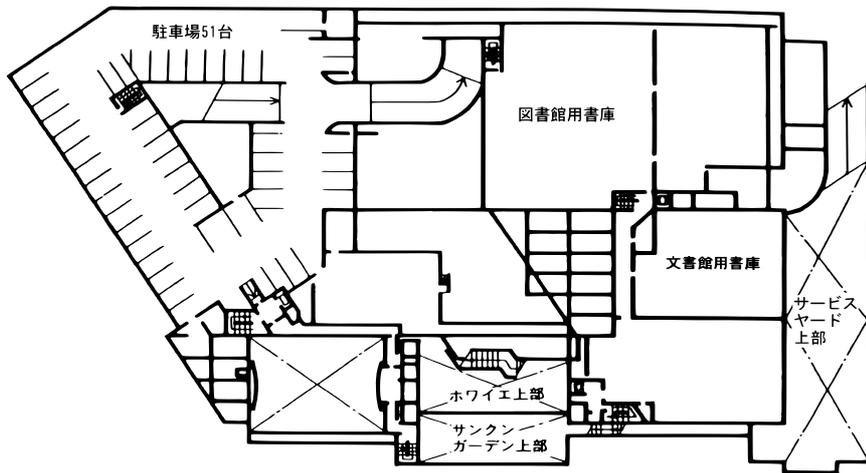
区 分	面積 (㎡)	仕 様 等
閱 覧 室	203	24席
閱 覧 準 備 室	35	8 席
展 示 室	90	国宝・重文資料展示可,ハロンガス消火設備 固定展示ケース 2面( 延長 22.4m )
研 修 会 議 室	94	50人収容
調 査 研 究 室	43	書架( 密集式 )延長451m
事 務 室	102	
館 長 室	22	
マイクロ撮影室	35	
製 本 補 修 室	29	和室 6 畳付
マイクロ保管室	36	24時間空調,ハロンガス消火設備
第 1 書 庫	103	古文書用,24時間空調,2時間耐火構造,ハロンガス消火設備 壁面~防湿用発泡ウレタン吹付けの上,調湿板仕上 天井~防湿用発泡ウレタン吹付けの上,調湿用岩面板仕上 書架( 密集 )延長 1,314m
第 2 書 庫	77	複製本用,2時間耐火構造,ハロンガス消火設備 壁面~防湿用発泡ウレタン吹付けの上,調湿板仕上 天井~防湿用発泡ウレタン吹付けの上,調湿用岩面板仕上 書架( 密集 )延長932m
第 3 書 庫	17	貴重書庫,24時間空調,2時間耐火構造,ハロンガス消火設備 壁面~防湿用発泡ウレタン吹付けの上,調湿板仕上 天井~防湿用発泡ウレタン吹付けの上,調湿用岩面板仕上 書架延長34m
第 4 書 庫	367	古文書用,24時間空調,2時間耐火構造,ハロンガス消火設備 壁面~防湿用発泡ウレタン吹付けの上,調湿板仕上 天井~防湿用発泡ウレタン吹付けの上,調湿用岩面板仕上 書架( 密集 )延長 1,331m
第 5 書 庫	481	行政文書用,24時間空調,2時間耐火構造,ハロンガス消火設備 壁面~防湿用発泡ウレタン吹付けの上,調湿板仕上 天井~防湿用発泡ウレタン吹付けの上,調湿用岩面板仕上 書架( 密集 )延長 6,085m
消 毒 室	52	エキボンガスを使用する燻蒸庫を設置 減圧・常圧燻蒸可能( 容積15㎡ )
荷 解 整 理 室	95	書架延長100m

24時間空調の設定条件： 温度 23度± 2度,湿度 55~60%

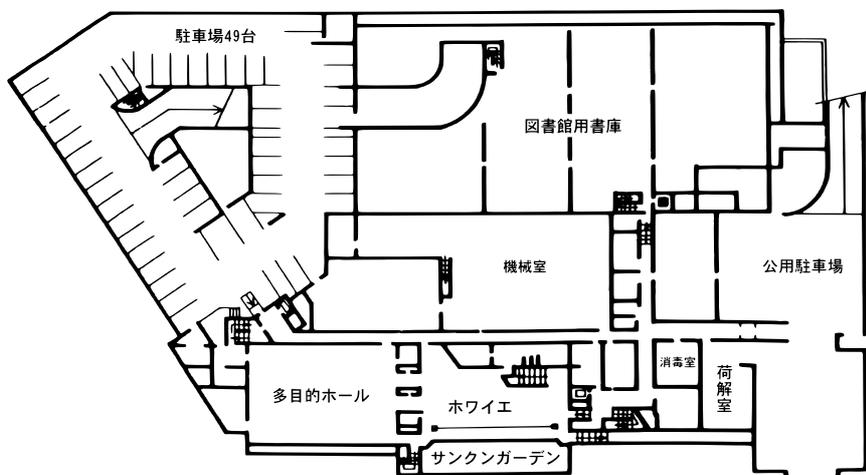
イ 文書館各階平面図



2階平面図



地下1階平面図



地下2階平面図

## Ⅱ 事業報告

### 1 平成15年度概観

#### 【調査】

引き続き文書調査員制度により県内資料所在調査を実施した。平成15年度の実績は63件である。

このほか、引き続き県庁OBなど4名から聞き取り調査を行った。今後も県庁文書に残されない記録の補完や、公人記憶の記録化のため、聞き取り調査を継続していく方針である。

行政文書補完事業の一環として、広島県域の歴史資料として重要な資料の収集のために、国立公文書館において所蔵資料調査と複製依頼を行った。また行政文書の移管を進めるため県教委総務課、県庁消防室・人事室及び備北地域事務所を訪問し常用文書等の調査を行い、県教委に対しては文書廃棄と移管について要望と説明を行った。

#### 【収集】

平成15年3月末に保存年限が満了となる行政文書(知事部局・企業局)の選別作業は、例年どおり1月～3月(平成14年)に実施した。その後、主務室の確認を経て、行政文書1,266冊を受け入れた。これとは別に、平成15年7月に教育委員会総務課より、87冊の戦前期資料の引渡しを受けた。明治中期以降の教職員人事記録を中心とした文書群である。

行政資料については、行政情報コーナーからの移管分を中心に777点を収集した。

古文書については、賀茂郡稲木村(現東広島市)の庄屋・戸長を勤めた天野家文書等11件、5,357点を収集し、収蔵古文書は200,826点となった。

マイクロフィルムでは、行政文書補完事業として、国立公文書館所蔵の軌道関係、教育関係、県衛生年報等の資料のほか、前年度から引続き、明治初年の県報の欠落部分を補う目的で、三原市立図書館所蔵の「明治の令達」の明治7年から9年にかけて撮影した。撮影コマ数は合計6,156コマである。

#### 【整理】

行政文書については、昭和44年度から48年度までに完結した文書のうち、1,507冊を再選別し整理した。その結果、再選別整理済み文書は13,204冊となった。

行政資料については、新たに収集した資料1,094冊を整理し、パソコンへのデータ入力を行った。また、過去に整理を終えた資料の重複分を別置するなどの作業を行った。

古文書については、今年度は6,934点について整理し、パソコンへのデータ入力を行った。

#### 【保存】

平成15年度より行政文書の中間書庫(広島市南区出汐二丁目)の使用を開始した。

平成13年度から、県立図書館から移管された浅野家文書のマイクロフィルムを、ポリエステルベースの複製

フィルムに代替保存しており、15年度は50本作成した。

また、平成13年度から始めた呉市焼山・富永家文書「旧跡ノ絵」の修復は、最後の16葉を実施して終了した。

寄贈・寄託等により収蔵した資料については、くん蒸庫によるくん蒸を3回実施した。

#### 【利用】

閲覧、利用相談、見学、展示、講座等の参加者を含む利用者総数は5,017名であった。平成14年度に比べて1,019名増加している。その要因は展示閲覧者の増加である。とくに夏季企画展の時期に展示閲覧者が増加した。一方、閲覧者自体はやや減少している。また逆に他の利用相談、見学、講座等の参加者は昨年を上回った。

行政文書・行政資料、複製資料、古文書の出納数は全体として減少している。とくに古文書は、大量の出納を行う閲覧者が少なかったこともあり、大幅に減少した。その一方で行政文書の一般利用は倍増している。

#### 【展示・イベント】

平成15年度は、昨年に続き、ひろしま文化施設ジョイント事業の一環として平和記念資料館との共同展示を行った。共通テーマ「路面電車が語るヒロシマ」を設け、当館は「写真と資料で見る創業・被爆・復興」と題して路面電車の大正元年の創業から発展、被爆、復興の姿を過去と現在を比較しながら紹介した。展示資料として当館所蔵の行政文書、古文書、写真等を使用したほか、市内在住の長船友則氏に電車関係資料の提供をお願いした。見学者総数は1,043名である。見学者からは、電車とともに広島が発展し、被爆後の復興にも深く関わっていることを資料から理解できたという感想が多く寄せられ、展示方法(昔と今の電車風景の対比や説明の分かり易さ)への共感や賛同も得た。

展示に関わるイベントとして「被爆電車でめぐるヒロシマ 歴史と平和を親子で学ぼう」を平和記念資料館と共同で開催した。親子12組29名が650形の被爆電車に乗りして当時運転手の藤井照子さんから証言を聞いた。参加した児童の一人は過去の歴史を正確に学び世界に伝える人になりたい、と述べた。また企画展終了後、「まちづくり市民交流プラザ」の南棟1階において同内容の出張展示を行った。これは展示アンケートの「巡回展を」、「定期的に」などの声に応えたものである。約3週間の会期中5,185名の観覧者を得た。

収蔵文書展は当館寄託八田家文書を活用し「明治期地方名望家のあゆみ 佐伯郡玖島村八田家の歴史と文書」と題して行った。広島県の大山林地主であり有数の資産家であった八田家の名望家としての歩みを、多彩な近代資料で跡付けた。

#### 【普及啓発】

行政文書・古文書保存管理講習会を、「広島県市町村公文書等保存活用連絡協議会」(広文協)との共催で開

催した。日本で最大数の13市町村が合併を目指す新潟県上越市の市史編さん室山本幸俊氏が「市町村合併と公文書保存 新潟県上越市の取り組みを中心に」と題して講演した。公文書保存のガイドラインを作成して合併町村の公文書廃棄を防ぐ具体的な話は多くの参加者に実践的な公文書保存への展望を与え真摯な取り組みが感動を与えた。

市町村合併に伴う公文書保存について、呉市、福山市で合併市の合併町村文書の調査を行った。また合併間近の備北管区市町村文化財行政担当者会議で公文書保存に

ついて取組みを要請した。

平成14年度に開設した新しいホームページに、収蔵資料を若干追加し「古文書講座」の続編を加えた。また展示やイベントの案内を逐次行った。

このほか、古文書解読入門講座・続古文書解読入門講座・文書館講演会を開催した。

【研究】

広島県立文書館資料集第三集「村上家乗 慶応二年」を刊行した。

2 収集

(1) 行政文書

知事部局及び企業局において、平成15年3月末に保存年限が満了となる文書のうち1,266冊を選別収集した結果、収蔵行政文書は42,872冊となった。

ア 行政文書課別冊数

課名	冊数	課名	冊数	課名	冊数	課名	冊数
広島県参事会	2	県民課	371	医務課	574	企業立地課	125
県治課	3	県民文化課	7	医療対策課	127	労政課	830
内務部第一課	6	文化振興室	72	県立病院課	7	労政福祉課	81
内務部地方課	7	生活文化室	4	県立病院管理室	11	労政雇用課	5
庶務課	35	コミュニティ振興課	32	環境衛生課	400	勤労者福祉室	2
会計課	32	国民文化祭事務局	14	予防課	205	職業安定課	555
総務課	420	交通安全対策室	59	公衆衛生課	376	職業訓練課	104
総務学事課	21	交通対策課	135	健康対策課	92	職業能力開発課	22
学事振興室	38	地方課	1,531	原爆被爆者対策課	316	農業経営課	8
学事課	89	市町村課	148	薬務課	308	農政課	1,279
文教課	117	地域整備課	195	公害対策室	11	農林企画課	7
渉外課	1	統計課	702	公害課	87	農業経済課	884
外事課	137	情報統計課	69	公害調整課	58	農地経済課	293
国際交流課	167	情報管理課	6	環境調整課	11	農業改良課	284
秘書課	19	新空港建設推進事務局	21	環境管理課	137	農業技術課	101
秘書広報課	58	空港対策局	10	公害規制課	67	農業振興課	602
県民広報課	28	空港交通対策課	10	大気保全課	142	農村対策課	135
広報広聴課	34	援護課	27	環境保全課	257	園芸特産課	221
人事課	2	民生課	27	環境政策課	70	農産園芸課	358
財政課	1,166	厚生課	120	水質保全課	132	農産課	371
税務課	5	社会課	1,030	環境整備課	359	食糧課	2
消防防災課	288	福祉保健課	104	商工観光課	231	食品流通課	149
管財課	69	福祉指導課	143	商工課	278	畜産課	1,069
管財第一課	5	社会福祉課	146	商政課	103	農地課	7
管財第二課	8	同和対策室	593	観光課	117	耕地課	1,898
財産管理室	1	同和対策課	725	通商観光課	30	農村整備課	46
福利課	4	福祉課	40	工業技術課	118	開拓課	1
政策企画局	8	障害福祉課	221	新産業振興室	16	農地開拓課	720
情報政策課	58	児童課	38	産業技術課	40	農業開拓課	9
企画広報課	44	児童家庭課	249	流通対策課	113	農業開発課	223
企画室	136	児童福祉課	209	商業観光課	81	水産課	1,529
企画課	454	青少年対策室	37	商工振興課	50	水産漁港課	499
企画調整課	210	青少年婦人対策室	6	観光交流課	13	林政課	1,161
政策企画室	7	青少年婦人課	132	商工指導課	65	林務政策課	1
地域開発課	157	青少年女性課	44	中小企業課	890	林業経営課	1
地域振興課	692	老人福祉課	79	中小企業指導課	107	林産課	528
地域政策室	2	高齢者対策課	140	金融課	255	林業振興課	369
中山間地域対策課	58	高齢者福祉課	188	商工金融課	44	治山課	591
土地対策課	15	保険課	230	経営指導室	5	森林保全課	231
消費生活課	62	保険医療課	4	経営支援室	4	自然保護課	285
生活課	51	国民年金課	1	工業振興課	49	みどり景観室	54

課名	冊数	課名	冊数	課名	冊数	課名	冊数
監理課	856	砂防課	597	住宅課	560	水道課(企業局)	58
企画調査室	4	新空港地域整備室	11	営繕課	47	呉渉外労務管理事務所	174
技術管理室	17	空港対策課	31	広島港建設課	1	江田島渉外労務管理事務所	8
技術管理課	92	計画課	510	土地開発課	1	広渉外労務管理事務所	46
用地課	44	都市計画課	332	開発課(開発局)	11	広島県引揚同胞更生会	231
道路維持課	195	都市総務課	8	開発第一課	59	広大成同盟会	29
道路課	363	都市政策課	84	開発第二課	30	広大建設推進本部	28
道路建設課	202	学園都市建設課	1	開発総務課	54	安芸地方事務所	27
河川課	1,228	都市整備課	299	開発用地課	22	廿日市土木建築事務所	38
河川開発室	4	下水道課	113	総務課(企業局)	96	援護恩給室	263
河川開発課	45	公園下水道課	72	経理課(企業局)	44	所属不明	2
港湾課	884	建築課	276	開発課(企業局)	144	総計	42,872

イ 完結年度別行政文書冊数

完結年度(西暦)	冊数	完結年度(西暦)	冊数	完結年度(西暦)	冊数	完結年度(西暦)	冊数
明治17(1884)	1	昭和7(1932)	2	昭和31(1956)	411	昭和55(1980)	661
18(1885)	1	8(1933)	1	32(1957)	448	56(1981)	738
24(1891)	1	9(1934)	1	33(1958)	659	57(1982)	843
27(1894)	1	10(1935)	5	34(1959)	874	58(1983)	714
29(1896)	1	11(1936)	2	35(1960)	1,178	59(1984)	580
30(1897)	1	12(1937)	1	36(1961)	1,960	60(1985)	640
38(1905)	1	13(1938)	7	37(1962)	1,435	61(1986)	479
43(1910)	2	14(1939)	8	38(1963)	1,558	62(1987)	564
44(1911)	1	15(1940)	6	39(1964)	1,172	63(1988)	593
大正2(1913)	3	16(1941)	7	40(1965)	828	平成元(1989)	517
3(1914)	2	17(1942)	1	41(1966)	849	2(1990)	2,214
7(1918)	1	18(1943)	5	42(1967)	1,135	3(1991)	648
8(1919)	1	19(1944)	2	43(1968)	1,458	4(1992)	571
9(1920)	1	20(1945)	5	44(1969)	1,220	5(1993)	445
10(1921)	2	21(1946)	10	45(1970)	1,528	6(1994)	460
12(1923)	1	22(1947)	15	46(1971)	1,291	7(1995)	1,796
13(1924)	1	23(1948)	40	47(1972)	1,107	8(1996)	579
14(1925)	1	24(1949)	56	48(1973)	1,331	9(1997)	845
15(1926)	2	25(1950)	56	49(1974)	1,457	10(1998)	231
昭和2(1927)	2	26(1951)	128	50(1975)	1,403	11(1999)	131
3(1928)	1	27(1952)	161	51(1976)	1,110	年度不明	333
4(1929)	1	28(1953)	83	52(1977)	1,261		
5(1930)	3	29(1954)	122	53(1978)	890		
6(1931)	1	30(1955)	177	54(1979)	793	総計	42,872

ウ 平成15年度収集行政文書課別冊数

課名	冊数	課名	冊数	課名	冊数	課名	冊数
会計課	4	市町村課	38	商工振興課	10	森林保全課	4
総務課	4	統計課	3	観光交流課	10	みどり景観室	3
学事課	5	福祉保健課	14	商工金融課	15	監理課	35
国際交流課	37	社会福祉課	33	経営支援室	4	技術管理課	18
秘書広報課	4	同和対策課	10	企業立地課	10	道路維持課	1
広報広聴課	13	障害福祉課	15	労政福祉課	18	道路建設課	9
財政課	117	児童福祉課	7	勤労者福祉室	2	河川課	52
消防防災課	17	青少年女性課	8	職業安定課	2	河川開発課	3
管財課	2	高齢者福祉課	59	職業能力開発課	5	港湾課	24
財産管理室	1	保険課	11	農政課	5	砂防課	55
政策企画局	8	医療対策課	2	農林企画課	1	空港対策課	20
情報政策課	7	環境衛生課	26	農業経済課	29	都市計画課	6
地域振興課	49	健康対策課	16	農村対策課	30	都市政策課	11
地域政策室	1	原爆被爆者対策課	5	農産課	29	都市整備課	3
中山間地域対策課	19	薬務課	12	畜産課	22	公園下水道課	21
県民課	2	環境保全課	13	農村整備課	3	建築課	2
文化振興室	16	環境政策課	23	水産漁港課	36	住宅課	10
生活文化室	4	環境整備課	25	林政課	12	総務課(企業局)	5
交通安全対策室	8	商政課	1	林務政策課	1	水道課	4
地方課	60	産業技術課	29	林業振興課	8	総計	1,266

(2) 行政資料

平成15年度は777冊を収集し 45,182冊となった。

年 度	広島県	市町村	国	その他	計	累 計
～平成2年度	10,895	2,127	2,772	5,086	20,880	
3年度	633	270	380	907	2,190	23,070
4年度	909	93	214	808	2,024	25,094
5年度	664	195	279	1,231	2,369	27,463
6年度	1,727	194	652	2,438	5,011	32,474
7年度	676	64	241	867	1,848	34,322
8年度	1,325	185	356	1,329	3,195	37,517
9年度	610	9	44	25	688	38,205
10年度	375	7	185	366	933	39,138
11年度	741	5	308	529	1,583	40,721
12年度	1,389	102	108	225	1,824	42,545
13年度	417	16	178	155	766	43,311
14年度	883	12	6	193	1,094	44,405
15年度	735	5	28	9	777	45,182
計	21,979	3,284	5,751	14,168	45,182	

(3) 古文書

ア 原文書の収集

平成15年度に 5,357 点の寄贈・寄託を受け、収集総数は 200,826 点となった。

年度	文 書 名 等	点数(推定)	寄贈・寄託等	内 容
平成元年度まで	竹内家文書, 八田家文書, 県議会事務局文書ほか	106,328	寄贈・寄託	国会, 銀行, 地主関係文書, 議事録ほか
2年度	田坂家文書, 伊藤家文書ほか	9,960	寄贈・寄託	庄屋文書, 地主文書, 議事録ほか
3年度	渋谷家文書, 秋山家文書, (株)広島銀行「創業百年史」資料ほか	15,042	寄贈・寄託	商家文書(戦国～近世初期, 近世～近代) 庄屋・議事文書, 写真ほか
4年度	福原家文書, 宇都宮家文書, 森戸家文書, 深井家文書ほか	6,550	寄贈・寄託	割庄屋・庄屋・戸長文書, 農兵関係文書, 書翰類ほか
5年度	榑崎家文書, 中戸家文書, 小野家文書, 桑原家文書ほか	4,521	寄贈・寄託	庄屋, 戸長文書, 村議会関係・編さん物等, 武家文書, 組頭文書ほか
6年度	岩竹家文書, 井上家文書, 山名家文書, 榑崎家文書ほか	4,900	寄贈・寄託	庄屋文書, 私文書, 戸長文書ほか
7年度	波多野家文書, 横山家文書, 吉原家文書, 木原家文書ほか	7,362	寄贈・寄託	庄屋文書, 割庄屋文書, 県会議員文書ほか
8年度	山野村役場文書, 小池秀男文書, 今堀誠二文書ほか	7,558	寄贈・寄託	明治～昭和役場文書, 戦後町村合併関係文書, 原水禁止運動関係ほか
9年度	真野家文書, 稲垣氏収集文書, 三吉鼓家文書, 原家文書ほか	602	寄贈・寄託	庄屋・戸長文書, 戦国期・江戸初期武家文書, 中世・近世武家文書
10年度	日下家文書, 奥田氏収集文書, 保田(義)家文書, 奥田家文書ほか	7,315	寄贈・寄託	近世武家文書(広島藩土), 和書, 酒造家ほか
11年度	福成寺文書, 保田(義)家文書, 海宝寺文書, 徳光氏収集文書ほか	10,272	寄贈・寄託 購入	商家文書和書, 書状, 経巻, 戸長文書ほか
12年度	桑原家文書, 吉本家文書, 広島信用金庫五十年史資料ほか	23,125	寄贈・寄託	八木用水関係等, 近代緑井村文書, 銀行史文書ほか
13年度	三原芳一氏収集文書, 中島弘資料, 平賀家文書, 三好家文書ほか	152	寄贈・寄託	鉄山・鍛冶屋文書等, 県庁写真等, 国郡志等, 中世文書ほか
14年度	神野家文書, 高山等資料, 榎本家文書, 米田家文書, 竹腰家文書ほか	1,742	寄贈・寄託	福山商家文書, 被爆者カルテ(複製), 陸軍将校文書, 県議文書, 広島藩土文書ほか
15年度	中垣家文書 天野家文書 河野家文書 榎本家文書 荒川五郎文書 安佐町郷土史研究会収集文書 原田家文書 松井家文書 高山等資料 田中家文書 土肥家文書	1 3,062 4 39 96 1 295 41 30 431 1,357	寄贈 寄託 寄託 寄贈 寄贈 寄託 寄贈 寄贈 寄託 寄託 寄託	中垣新作遺書掛軸 庄屋文書, 戸長役場文書ほか 柔術・難波一甫流相伝書 「陣中日誌寄稿録」 衆議院議員荒川五郎軸装書ほか 屏風下張り文書 医学・薬学関係典籍ほか 寺子屋教科書・典籍 原爆手記, 国内外からのメッセージ 広島臨海土地株式会社関係文書 庄屋文書ほか
	小 計	5,357		
	合 計	200,826		

イ マイクロフィルムによる収集

平成15年度に 6,156 コマの撮影（複製を含む。）による収集を行った。

年度	文 書 名	所 在	コマ数
平成 2年度 まで	移住史関係，橋本家文書，反故紙経ほか	外交史料館，岡山県金光図書館， 厳島神社ほか	152,025
3年度	田中家文書，広島市公文書館収蔵文書，広島県報 （大正元年8月～昭和10年12月），石井家文書ほか	三原市立図書館，広島市公文書館 ほか	158,741
4年度	田中家文書，堀内家文書，広島市公文書館収蔵文書， 井上家郷惣代文書ほか	三原市立図書館，瀬戸田町，広島 市公文書館，加計町ほか	118,253
5年度	不動院文書，広島市公文書館収蔵文書，井上家文書， 広島県勸業年報，竹内家文書，山科家文書ほか	不動院，広島市公文書館，県民情 報室，八千代町，久井町ほか	25,819
6年度	箕岡家文書，井上家文書，広島市公文書館収蔵文書， 長谷川家文書ほか	加計町，三次市立図書館・庄原市 広島市公文書館，世羅西町	25,265
7年度	国郡誌（山県・奴可・甲奴郡等），三吉家文書，山野 資料保存会文書ほか	東城町，西城町，福山市ほか	23,936
8年度	山野資料保存会文書，竹鶴文書，伴家文書，井上家 文書ほか	福山市，竹原市，広島市安佐南区， 加計町ほか	29,014
9年度	防衛庁収蔵文書，渋谷家文書，三吉鼓家文書，竹鶴 文書，榑崎家文書，小砂家文書，山野資料保存会文 書（寄託）ほか	東京都，県立文書館，佐々木勝幸， 竹原市，国立公文書館，福山市ほ か	20,174
10年度	西養寺文書，羽白家文書，榑崎家文書，榑崎家文書， 山野村役場文書（寄託），荒木家文書，プランゲ文庫 ほか	竹原市，熊野町，県立文書館，国 会図書館	56,659
11年度	防衛庁戦史部図書館，阿蘇家文書，竹鶴家文書，藤 井家文書，中垣家文書，山野村役場文書，多田家文 書ほか	東京都，向島町，竹原市，豊町， 広島市安佐北区，県立文書館	18,791
12年度	防衛庁戦史部図書館，大儀正夫氏収集文書 国会図 書館史料，能美町教育委員会文書，山野村役場文書， 友近家文書，竹内家文書	東京都，広島市南区，県立文書館， 佐伯郡能美町，広島市安佐北区	53,053
13年度	原田家文書，宮沖家文書，秋本家文書，山野村役場 文書，細川家文書	広島市安佐北区，佐伯郡能美町， 県立文書館	9,352
14年度	防衛庁防衛研究所図書館史料，米田家文書，原田家 文書，「明治の令達」，大崎町教育委員会所蔵文書	東京都，双三郡吉舎町，広島市安 佐北区 三原市，豊田郡大崎町	5,233
15年度	国立公文書館史料 「明治の令達」	東京都 三原市	2,261 3,895
	小 計		6,156
	合 計		702,471

### 3 利用

利用状況は、次のとおりである。

#### (1) 総括表

年 度	開館日数 (日)	来館者数 (人)	内 容					利用券 発行数
			閲覧	利用相談	見学	展示閲覧	講座等	
平成14年度まで	4,234	67,200	11,905	4,957	3,855	22,352	24,131	2,930
平成15年 4月	25	196	68	18	0	0	110	11
5月	25	236	82	33	0	0	121	21
6月	25	390	75	84	4	0	227	15
7月	26	318	80	26	3	0	209	18
8月	26	1,077	112	54	0	698	213	21
9月	24	755	101	13	0	345	296	26
10月	26	283	81	16	0	0	186	11
11月	23	283	85	23	1	0	174	17
12月	23	211	76	13	1	0	121	17
平成16年 1月	23	250	61	50	21	0	118	12
2月	23	255	90	51	0	0	114	22
3月	26	763	84	29	7	441	202	11
計	295	5,017	995	410	37	1,484	2,091	202
合 計	4,529	72,217	12,900	5,367	3,892	23,836	26,222	3,132

(注) 平成15年度出張展示の企画名、期間、場所及び閲覧者数は以下のとおり。「路面電車が語るヒロシマ」10/17～11/5、「まちづくり市民交流プラザ」(広島市中区袋町6-36)南棟1階、5,185人。なお、この数値は上記展示閲覧者に含めていない。

#### (2) 文書の出納・複写状況

年 度	総数(冊)	内 容					複写枚数 (枚)
		行政文書	行政資料	図 書	古 文 書	複製資料	
平成14年度まで	50,415	2,768	1,023	8,895	14,105	23,624	149,050
平成15年 4月	328	0( 0)	1	102	103	122	1,168
5月	356	12( 32)	7	74	102	129	1,176
6月	247	4( 15)	0	46	34	148	863
7月	203	34( 0)	1	83	12	73	515
8月	311	1( 5)	4	53	54	194	817
9月	337	0( 34)	0	31	72	200	1,477
10月	251	0( 28)	0	28	10	185	1,303
11月	208	0( 6)	1	27	69	105	1,398
12月	242	33( 8)	4	35	50	112	516
平成16年 1月	223	6( 37)	1	14	97	68	2,889
2月	185	3( 15)	0	34	12	121	1,348
3月	164	0( 17)	8	10	6	123	560
計	3,055	93( 197)	27	537	621	1,580	14,030
合 計	53,470	3,058	1,050	9,432	14,726	25,204	163,080

(注) 行政文書の括弧内は、保管文書の県職員の利用を外数で示した。

#### (3) 地域別利用券発行状況

(単位：人、%)

区 分	平成12年度まで	平成13年度	平成14年度	平成15年度	合計	割合	
県 内	広島市内	1,338	75	93	96	1,602	51.1
	広島市外	725	73	54	63	915	29.2
	計	2,063	148	147	159	2,517	80.3
県 外	474	48	48	43	613	19.6	
外 国	2	0	0	0	2	0.1	
合 計	2,539	196	195	202	3,132	100.0	

## (4) 職業別利用券発行者数

(単位：人，%)

区 分	平成12年度まで	平成13年度	平成14年度	平成15年度	合計	割合
会 社 員	505	29	22	28	584	18.7
自営業(農業を含む)	77	6	8	1	92	2.9
公 務 員	341	31	35	24	431	13.8
小 中 高 校 教 員	115	2	3	5	125	4
大 学 教 員	283	28	27	31	369	11.8
学 生	474	19	20	30	543	17.3
大 学 院 生	168	13	15	15	211	6.7
無職(不明を含む)	576	68	65	68	777	24.8
合 計	2,539	196	195	202	3,132	100.0

## (5) 年代別・男女別利用券発行者数

(単位：人・%)

区 分	平成12年度まで	平成13年度	平成14年度	平成15年度	合 計	割 合		
10～	計	44	1	4	5	54	105	3.4
		45	1	1	4	51		
20～	計	473	23	26	24	546	856	27.3
		262	13	16	19	310		
30～	計	400	28	18	23	469	544	17.4
		60	4	7	4	75		
40～	計	346	16	24	26	412	484	15.5
		51	5	7	9	72		
50～	計	228	32	26	29	315	369	11.8
		42	5	3	4	54		
60～	計	342	31	34	20	427	468	14.9
		29	5	4	3	41		
70～	計	194	27	23	29	273	280	8.9
		5	2	0	0	7		
不明	計	15	2	1	2	20	26	0.8
		3	1	1	1	6		
合計	計	2,042	160	156	158	2,516	3,132	100.0
		497	36	39	44	616		

#### 4 展示・普及啓発

郷土広島県の歴史に関する学習の機会と場所を提供するとともに、文書等資料の歴史的価値についての認識を深めるため、次の事業を実施した。

##### (1) 展示

###### ア 企画展

テーマ	路面電車が語るヒロシマ 写真と資料で見る創業・被爆・復興
期間	平成15年8月4日～9月27日
展示点数	158点
観覧者数	1,043人

###### イ 常設展

テーマ	明治期地方名望家のあゆみ 佐伯郡玖島村八田家の歴史と文書
期間	平成16年3月1日～4月30日
展示点数	133点
観覧者数	683人

###### ウ 常設展

企画展、収蔵文書展以外の期間において、「古文書への招待 村方文書と武家文書」というテーマで、古文書の意味や形式などについて基礎的解説、パネル展を行った。

また、常設展では次のテーマで収蔵文書の紹介を行った。

テーマ	復員・引揚げとシベリア抑留 援護行政のアーカイヴズ
期間	平成15年6月9日～平成15年7月28日
テーマ	昭和47年のアーカイヴズ 今年度公開された広島県行政文書の紹介
期間	平成15年11月10日～平成16年1月31日

###### エ 出張展示

テーマ	路面電車が語るヒロシマ 写真と資料で見る創業・被爆・復興
期間	平成15年10月17日～11月5日
展示場所	広島市まちづくり市民交流プラザ
観覧者数	5,185人

##### (2) 講演会

開催日	平成16年3月13日
場所	県立文書館
講師	副主任研究員 西向 宏介
テーマ	明治期地方名望家のあゆみ 佐伯郡玖島村八田家の歴史と文書
受講者数	90人

##### (3) 古文書解読講座の開催

###### ア 古文書解読入門講座

平成15年6月から10月までの第2・第4土曜日(午後1時30分から3時30分までの2時間)に、61名を対象に開催した。70%以上の出席者40名に修了証書を授与した。

回	月日	担当	内容
1	6月14日	西村	ガイダンス, 古文書解読の基礎知識
2	6月28日	長澤	近世武家文書「武家諸法度」
3	7月12日	長澤	「三次藩断絶関係文書」
4	7月26日	長澤	古文書取扱講習, 文書館業務説明, 文書館見学
5	8月9日	西村	近世庄屋文書「年貢の収納と農民」
6	8月23日	西村	近世商家文書 「島原の乱とキリシタン取締り」
7	9月13日	西向	「町屋敷経営の文書」
8	9月27日	西向	「尾道の商業関係文書」(1)
9	10月11日	西向	「尾道の商業関係文書」(2)
10	10月25日	数野	近代文書「廃藩置県と武一騒動」, 修了式

###### イ 続古文書解読入門講座

平成15年7月から1年間、毎月第3土曜日(8月, 3月, 5月は第4土曜日, 午前10時30分から12時30分までの2時間)に古文書解読入門講座修了証書授与者等35名を対象に開催した。なお、続古文書解読入門講座修了者が同好会(第1・第2)を結成し、毎月1回自主的に開催しているが、これに対する指導や助言を行った。

回	月日	担当	内容
1	7月19日	長澤	ガイダンス, 元治元年(1864)～慶応2年(1866)の長州戦争(第1・2次長州征伐)に関係して広島藩が領内に発令した触書類
2	8月23日	「	「
3	9月20日	「	「
4	10月18日	西村	広島「堀川町覚書」
5	11月15日	「	広島城下町火事と盗難
6	12月20日	「	藩主と領民
7	1月17日	西向	尾道「十四日町年誌」
8	2月21日	「	江戸後期(天保～嘉永)の尾道町商業に関する触書・願書
9	3月27日	「	「
10	4月17日	数野	広島藩下級藩士の日記と明治4年武一騒動
11	5月22日	「	「
12	6月19日	「	修了式

(4) 第13回行政文書・古文書保存管理講習会

「公文書館法」の趣旨に従い、歴史資料として重要な行政文書及び古文書などの散逸防止、適正な管理及びその利用に関して、市町村等の職員を対象に次のとおり実施した。

日時	平成15年11月28日(金) 10時~15時30分
会場	広島県情報プラザ 第一研修室・第二研修室
参加者	72名
内容	1 講演 「市町村合併と公文書保存 新潟県上越市の取組みを中心に」 新潟県上越市史編さん室 山本幸俊
	2 分科会 〔行政文書分科会〕 【報告】 「市町村合併と公文書の引継・管理」 広島県地域振興部市町村合併推進室 開本 出 「市町村役場文書の評価選別基準」 広島県立文書館 数野文明 〔古文書分科会〕 【報告】 「史料情報の共有化をめぐる」 広島県立文書館 長澤 洋 「破損した古文書に学ぶ」 広島県立文書館 西村 晃

(5) 古文書学実習

大学の学外古文書学実習を引き受け、次のとおり実施した。

日時	平成15年9月9日(火) 9時45分~16時
場所	広島県情報プラザ 第一研修室
参加者	安田女子大学教官, 安田女子大学文学部日本文学科3年46名
内容	1 講義 (1)文書館学概論 総括研究員 安藤福平 (2)古文書の収集・整理・保存 副主任研究員 西向宏介 (3)古文書の保存・修復と館内見学 ア「古文書保存の現状と問題点」 主任研究員 西村 晃 イ 館内見学 主任研究員 長澤 洋 ウ 古文書補修の原則 実習を含む 特別講師 久保隆史
	2 質疑

なお、施設見学として、次のとおり来館があった。

- ア 5月14日(水) 広島女学院大学生生活科学部  
宇吹 暁教授, 学生20名
- イ 6月28日(土) 吉備国際大学文化財修復国際協力学科  
引率者2名, 学生20名
- ウ 1月15日(木) 県立広島女子大学国際文化学部  
松井輝昭講師, 学生30名

5 業務日誌

- 4月1日(火) 辞令交付, 中間書庫使用開始
- 4月2日(水) 中垣家文書を寄託から寄贈へ変更
- 4月8日(火) 古文書解読同好会(第一グループ)
- 4月16日(水) 県庁 OB 三郎丸義春氏から聞き取り調査(数野)
- 4月17日(木) 古文書解読同好会(第二グループ)  
県庁 OB 橋本章氏・田坂義博氏・中島弘氏聞き取り調査(数野)
- 4月18日(金) 国際交流室へ「第2回中・四国ハワイアンフェスティバル」に使用するハワイ移民関係写真パネル6枚を貸出し
- 4月19日(土) 続古文書解読入門講座(平成14年度第10回)
- 4月24日(木) 展示「収蔵文書紹介コーナー」が中国新聞文化面に掲載
- 4月25日(金) 文化行政担当者会議に出席, 県教委総務課, 県庁消防室・人事室を訪問し, 常用文書調査
- 5月13日(火) 古文書解読同好会(第一グループ)
- 5月14日(水) 広島女学院大学宇吹ゼミ学生実習見学
- 5月15日(木) 古文書解読同好会(第二グループ)
- 5月17日(土) 続古文書解読入門講座(平成14年度第11回)
- 5月27日(火) HLC郷土史講座(於県民文化センター)
- 6月3日(火) 呉市入船山記念館職員見学
- 6月4日(水) 呉市合併町村文書保存の実態調査
- 6月5日(木) 行政文書補完事業資料調査(~6日, 於国立公文書館, 安藤)
- 6月9日(月) 県教委総務課で文書廃棄・移管について説明  
常設展再開, 収蔵文書の紹介「復員・引揚げとシベリア抑留 援護行政のアーカイブズ」(~7月28日)
- 6月10日(火) 古文書解読同好会(第一グループ)
- 6月14日(土) 古文書解読入門講座開講
- 6月16日(月) 広文協総会, 広文協理事会
- 6月17日(火) 中国新聞・読売新聞で広文協総会を報道
- 6月19日(木) 古文書解読同好会(第二グループ)
- 6月21日(土) 続古文書解読入門講座(平成14年度最終回, 修了式)
- 6月23日(月) 広島市安佐公民館で「紙資料の取扱いについて」講義(西村), 安佐町郷土史研究会収集文書(2000304)寄託
- 6月26日(木) 備北地域事務所・庄原市役所で文書調査(数野)
- 6月28日(土) 吉備国際大学社会学部文化財修復国際協

- 力学科見学・研修  
古文書解読入門講座(第2回)
- 7月8日(火) 古文書解読同好会(第一グループ)
- 7月12日(土) 古文書解読入門講座(第3回)
- 7月15日(火) 教育委員会事務局より行政文書87冊を受領(安藤)
- 7月17日(木) 古文書解読同好会(第二グループ)
- 7月19日(土) 続古文書解読入門講座開講
- 7月25日(金) 選別行政文書を中間書庫へ搬入  
長期保存文書の一部を文書館に搬入
- 7月26日(土) 古文書解読入門講座(第4回)
- 7月31日(木) 文書館だより第22号発行
- 8月4日(月) 平和記念資料館との共同企画展「路面電車が語るヒロシマ 写真と資料で見る創業・被爆・復興」開催(～9月27日)
- 8月5日(火) 中国新聞に共同企画展関係の記事掲載  
燻蒸庫燻蒸(第1回,～9日)
- 8月8日(金) 備北地域事務所農林局文書受領  
福山市史編さん室職員3名が視察
- 8月9日(土) 古文書解読入門講座(第5回)
- 8月12日(火) 古文書解読同好会(第一グループ)
- 8月18日(月) 燻蒸庫燻蒸(第2回,～22日)
- 8月21日(木) 古文書解読同好会(第二グループ)
- 8月23日(土) 記念資料館との共同イベント「被爆電車でめぐるヒロシマ 歴史と平和を親子で学ぼう」を開催  
続古文書解読入門講座(第2回)  
古文書解読入門講座(第6回)
- 8月24日(日) 朝日新聞・中国新聞・読売新聞に共同イベントの記事掲載
- 9月1日(月) 国立史料館アーカイブズ・カレッジ(長期コース)に参加(～19日,数野)
- 9月2日(火) 古文書解読同好会(第二グループ)
- 9月9日(火) 安田女子大学学外古文書学実習
- 9月10日(水) 県立病院資料調査(安藤)
- 9月13日(土) 古文書解読入門講座(第7回)
- 9月18日(木) 古文書解読同好会(第二グループ)
- 9月20日(土) 続古文書解読入門講座(第3回)
- 9月22日(月) 稲垣武氏収集文書1点を広島城と吉田町歴史民俗資料館の巡回展に貸出し
- 9月24日(水) 福山市役所で文書調査(安藤)
- 9月26日(金) 行政文書補完事業資料調査(於国立公文書館,安藤)
- 9月27日(土) 古文書解読入門講座(第8回)
- 10月3日(金) 広文協第1回研修会(於福山市役所)
- 10月8日(水) 原田家文書(9802)追加寄贈
- 10月9日(木) 松井家文書(200308)寄贈
- 10月10日(金) 永井弥六氏収集文書(9401)追加寄託
- 10月11日(土) 古文書解読入門講座(第9回)
- 10月14日(火) 古文書解読同好会(第一グループ)
- 10月16日(木) 古文書解読同好会(第二グループ)
- 10月17日(金) 広島市まちづくり市民交流プラザで展示  
「路面電車が語るヒロシマ」開始(～11月5日)
- 10月18日(土) 続古文書解読入門講座(第4回)
- 10月25日(土) 古文書解読入門講座(最終回,修了式)
- 11月10日(月) 常設展再開,収蔵文書の紹介「昭和47年(1972)のアーカイブズ」開始(～1月31日)
- 11月11日(火) 古文書解読同好会(第一グループ)
- 11月12日(水) 国立史料館アーカイブズ・カレッジ短期コース(於大分県立図書館)に講師(安藤)を派遣
- 11月15日(土) 続古文書解読入門講座(第5回)
- 11月17日(月) 広島市公文書館調査(数野)
- 11月19日(水) 国立公文書館の公文書館専門職員養成課程に講師(安藤)を派遣
- 11月27日(木) 古文書解読同好会(第二グループ)
- 11月28日(金) 行政文書・古文書保存管理講習会  
広文協理事会
- 12月9日(火) 古文書解読同好会(第一グループ)
- 12月11日(木) 備北管区市町村文化財行政担当者会で公文書保存について要請(安藤,於備北地域事務所)
- 12月12日(金) 全史料協プロジェクトチーム(内閣府への要望書作成)に参加(安藤,於学習院大学)
- 12月16日(火) 高山等資料(200203)追加寄託
- 12月18日(木) 古文書解読同好会(第二グループ)
- 12月20日(土) 続古文書解読入門講座(第6回)
- 1月13日(火) 古文書解読同好会(第一グループ)
- 1月14日(水) 三原市職員研修グループ「くるくる三原探検隊」5名公文書研修・研究のため来館
- 1月15日(木) 古文書同好会(第二グループ)  
広島女子大学の博物館学各論Ⅱの実習授業(松井鈴峯女子短期大学教授)
- 1月17日(土) 続古文書解読入門講座(第7回)
- 1月21日(水) 国立公文書館実務担当者会議に参加(長沢,～23日)
- 1月30日(金) 文書館だより第23号発行
- 2月6日(金) 呉地域事務所より行政文書を受領
- 2月10日(火) 当館で広文協第2回研修会(講師熊本県宇土市福岡事務所田尻清隆氏・大阪府枚方市総務部法制室鈴江智氏)
- 2月17日(火) 古文書解読同好会(第一グループ)
- 2月19日(木) 古文書解読同好会(第二グループ)
- 2月21日(土) 続古文書解読入門講座(第8回)
- 2月26日(木) 土肥家文書(200305)寄託
- 2月27日(金) 榎本家文書(200206)追加寄贈
- 3月1日(月) 収蔵文書展「明治期地方名望家のあゆみ  
佐伯郡玖島村八田家の歴史と文書」開催(～4月30日)
- 3月5日(金) 県庁書庫で文書選別作業など(～15日)
- 3月9日(火) 古文書解読同好会(第一グループ)
- 3月11日(木) 中四国県立図書館郷土資料担当者会議(於広島県立図書館)に講師(数野)を派遣
- 3月13日(土) 文書館講演会「明治期の地主と地方名望家」(講師 西向)

- 3月18日(木) 古文書解読同好会(第二グループ)  
 3月19日(金) 世羅西町教育委員会文化財保護委員来館し、古文書の保存について相談  
 3月23日(火) 田中家文書(200306)寄託、宇品築港百年史編纂委員会文書(200307)寄贈  
 3月24日(水) 職場人権問題研修

- 燻蒸庫燻蒸(第3回、~31日)  
 3月27日(土) 続古文書解読入門講座(第9回)  
 3月29日(月) 広島県立文書館資料集第三集「村上家乗慶応二年」発行  
 事業年報第14号発行

### Ⅲ 法律・条例・規則

#### 1 公文書館法

(昭和62年法律第115号)

(目的)

第1条 この法律は、公文書等を歴史資料として保存し、利用に供することの重要性にかんがみ、公文書館に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(定義)

第2条 この法律において「公文書等」とは、国又は地方公共団体が保管する公文書その他の記録(現用のものを除く。)をいう。

(責務)

第3条 国及び地方公共団体は、歴史資料として重要な公文書等の保存及び利用に関し、適切な措置を講ずる責務を有する。

(公文書館)

第4条 公文書館は、歴史資料として重要な公文書等を保存し、閲覧に供するとともに、これに関連する調査研究を行うことを目的とする施設とする。

2 公文書館には、館長、歴史資料として重要な公文書等についての調査研究を行う専門職員その他必要な職員を置くものとする。

第5条 公文書館は、国又は地方公共団体が設置する。  
 2 地方公共団体の設置する公文書館の当該設置に関する事項は、当該地方公共団体の条例で定めなければならない。

(資金の融通等)

第6条 国は、地方公共団体に対し、公文書館の設置に必要な資金の融通又はあっせんを努めるものとする。

(技術上の指導等)

第7条 内閣総理大臣は、地方公共団体に対し、その求めに応じて、公文書館の運営に関し、技術上の指導又は助言を行うことができる。

附 則

(施行期日)

1 この法律は、公布の日から起算して6月を超えない範囲内において政令で定める日から施行する。

(専門職員についての特例)

2 当分の間、地方公共団体が設置する公文書館には、第4条第2項の専門職員を置かないことができる。

(総理府設置法の一部改正)

3 総理府設置法(昭和24年法律第127号)の一部を次のように改正する。

第4条第7号の次に次の1号を加える。

7の2 公文書館法(昭和62年法律第115号)の施行に関すること。

#### 2 広島県立文書館設置及び管理条例

(昭和63年広島県条例第1号)

(設置)

第1条 県に関する歴史的資料として重要な行政文書、古文書その他の記録(以下「文書等」という。)を収集し、及び保存するとともに、これらの利用を図り、もって学術及び文化の発展に寄与するため、広島県立文書館(以下「文書館」という。)を設置する。

(位置)

第2条 文書館の位置は、広島市中区千田町三丁目とする。

(業務)

第3条 文書館は、次の業務を行う。

- (1) 文書等の収集、整理及び保存に関すること。
- (2) 文書等の利用に関すること。
- (3) 文書等の調査及び研究に関すること。
- (4) 文書等についての専門的な知識の普及啓発に関すること
- (5) 文書等の目録、史誌、資料集等の編さん及び刊行に関すること
- (6) その他文書館の目的を達成するために必要な事業に関すること

(職員)

第4条 文書館に、館長その他必要な職員を置く。

2 館長は、文書館の業務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

(委任規定)

第5条 この条例に定めるもののほか、文書館の内部組織その他管理に関し必要な事項は、知事が定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して8月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。

(昭和63年9月規則第59号で、同63年10月1日から施行)

### 3 広島県立文書館管理規則

昭和63年広島県規則第60号  
一部改正 平成5年広島県規則第17号  
" 平成5年広島県規則第89号

(趣旨)

第1条 この規則は、広島県立文書館(以下「文書館」という。)の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 文書館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、土曜日の開館時間は、午前9時から正午までとする。

2 文書館の長(以下「館長」という。)は、必要があると認めるときは、前項の開館時間を臨時に変更することができる。

3 館長は、前項の規定により文書館の開館時間を臨時に変更しようとするときは、あらかじめその旨を文書館に掲示するものとする。

(休館日等)

第3条 文書館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日
- (3) 1月2日から同月4日まで及び12月28日から同月31日まで

2 館長は、必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、または同項の休館日において臨時に開館することができる。

3 館長は、前項の規定により臨時に休館し、または開館しようとするときは、あらかじめその旨を文書館に掲示するものとする。

(遵守事項)

第4条 文書館においては、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- 1 広島県立文書館設置及び管理条例(昭和63年広島県条例第1号)第1条に規定する文書等(以下「文書等」という。)または文書館の施設若しくは設備を亡失し、き損し、または汚損しないこと。
- 2 他人に危害を及ぼし、迷惑を掛ける行為その他文書館の秩序を乱す行為をしないこと。
- 3 職員の指示に従うこと。

(禁止行為)

第5条 文書館においては、次に掲げる行為をしてはならない。ただし、館長の許可を受けた場合は、この限りでない。

- (1) 寄付の募集
- (2) 爆発物その他危険物の持ち込み
- (3) 行商その他これに類する行為
- (4) 宣伝その他これに類する行為
- (5) 広告物の掲示若しくは配布又は看板、立札類の設置

(入館の制限等)

第6条 館長は、前2条の規定に違反するおそれのある者又はこれらの規定に違反した者に対して、文書館へ

の入館を拒否し、又は文書館からの退去を命ずることができる。

(文書等の寄贈及び寄託)

第7条 文書館は、文書等の寄贈及び寄託を受けることができる。

2 寄託を受けた文書等は、その保管、利用等に関し、寄託者と特約がある場合を除き、文書館所蔵の文書等と同様の取り扱いをするものとする。

3 寄託を受けた文書等が天災地変その他不可抗力により損害を受けたときは、その責めを負わないものとする。

(文書等の利用の制限)

第8条 文書等のうち、次に掲げるものは、館長が学術研究上特に必要があると認めた場合を除き、利用に供しないものとする。

- (1) 個人もしくは団体の秘密保持のため、又は公益上の理由により利用に供することが不適當な文書等の全部又は一部
- (2) 文書等の整理又は保存上支障があるもの

2 寄贈又は寄託を受けた文書等の利用に関し寄贈者又は寄託者と特約がある場合は、当該特約に従うものとする。

(利用券)

第9条 文書等を利用しようとする者は、別記様式第1号による文書館利用券交付申請書を館長に提出し、別記様式第2号による利用券(以下「利用券」という。)の交付を受けなければならない。

2 前項の場合において、館長は、必要と認めるときは、申請者にその身分を証明することができるものの提示を求めることができる。

3 利用券の有効期間は、交付の日から1年とする。

4 館長は、利用券の交付状況を明らかにするため、別記様式第3号による利用券交付台帳を備えなければならない。

(閲覧の手續)

第10条 文書等を閲覧しようとする者は、別記様式第4号による文書等閲覧申請書に利用券を添えて館長に提出し、閲覧しようとする文書等(以下「閲覧文書等」という。)を借り受けるものとする。

2 閲覧文書等の閲覧を終了した者は、速やかに当該閲覧文書等を返納しなければならない。

3 同時に借り受けることができる閲覧文書等は、館長が特別の理由があると認めた場合を除き、5点以内とする。

(文書等の館外貸出し)

第11条 文書等の館外貸出しは、行わないものとする。ただし、館長が特別の理由があると認めた場合は、この限りではない。

(文書等の複写)

第12条 文書等の複写を希望する者は、別記様式第5号による文書等複写申請書に利用券を添えて館長に提出し、その承認を受けなければならない。

(出版物等への掲載)

第13条 文書等の全部又は一部を出版物等に掲載しようとする者は、あらかじめ、別記様式第6号による出版

物等掲載許可申請書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

( 損害賠償義務等 )

第14条 文書等又は文書館の施設若しくは設備を亡失し、き損し、又は汚損した者は、別記様式第7号による亡失等届出書を館長に提出するとともに、これを修復し、又はその損害を賠償しなければならない。

( 館長 )

第15条 館長は、非常勤の職員をもって充てることができる。

( 委任規定 )

第16条 この規則の施行に関し必要な事項は、館長が定める。

附 則

この規則は、昭和63年10月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成5年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

#### 4 広島県文書等管理規則 (抜粋)

( 平成13年広島県規則第31号 )

( 文書等の廃棄等 )

第9条 完結文書の保存年限が満了したときは、書庫に収蔵したものにあっては文書法制室長等において、その他のものにあっては主務取扱主任において廃棄するものとする。

2 主務取扱主任は、保存年限満了前に完結文書を廃棄しなければならない特別の理由が生じたときであっても、文書法制室長等の承認を得なければ、当該完結文書を廃棄することができない。

3 文書法制室長等又は主務取扱主任は、前2項の規定により完結文書を廃棄しようとするときは、当該完結文書を広島県立文書館(以下「文書館」という。)で保存することの適否について文書館の長(以下「文書館長」という。)の審査を受けなければならない。

4 文書法制室長等又は主務取扱主任は、前項の審査により、文書館で保存すると決定された完結文書については、当該完結文書が法令により廃棄しなければならないとされている場合等特別の理由がある場合を除き、文書館長に引き渡さなければならない。

#### 5 広島県文書等管理規則 (抜粋)

( 平成13年広島県訓令第5号 )

( 文書等の廃棄等 )

第43条 文書法制室長等及び主務取扱主任は、保存年限が満了した完結文書は文書館に引き渡す文書等を除き、焼却、細断等適切な措置を講じた上で廃棄するものとする。ただし、電磁的記録については、磁気ディスク等に記録されている当該電磁的記録を消去する方法により廃棄するものとする。

2 文書法制室長等又は主務取扱主任が保存年限が満了した完結文書を文書館で保存することの適否について規則第9条第3項の規定により審査を受けるときは、

当該完結文書の目録の写しを文書館長に送付するものとする。

3 文書館長は、前項の規定による審査の結果、文書館において保存しようとする廃棄予定文書については、別記様式第12号による廃棄予定文書保存通知書を作成し、文書法制室長等又は主務取扱主任に通知するものとする。

## = 利用案内 =

### 1 開館時間

- ・月～金曜日 9時～17時
- ・土曜日 9時～12時

### 2 休館日

- ・日曜日, 国民の祝日・休日
- ・年末年始(12月28日～1月4日)

### 3 閲覧の仕方

- ・初めて利用される方は, 閲覧室のカウンターで利用券の交付を受けてください。
- ・目録やカードで必要な文書を検索し, 閲覧申請書に必要事項を記入してカウンターに出してください。一度に利用できる文書は, 5点までです。
- ・文書の検索や利用についてわからないことがあれば, カウンターでお尋ねください。

### 4 資料の複写等

- ・文書・図書の館外貸出しは行いません。
- ・文書の複写は, 別に許可が必要です。カウンターで所定の手続きをしてください。
- ・複写は実費をいただきます。



交通 JR広島駅から

広島港行(ベイシティ宇品経由)バス…広島県情報プラザ前下車  
広島港行(紙屋町経由)路面電車…広電本社前下車約500m  
広島県情報プラザ内駐車場 利用可能(有料)

もんじょかん  
**広島県立文書館事業年報 第15号**  
(平成15年度分)

(平成17年3月発行)

編集・発行 広島県立文書館

〒730-0052 広島市中区千田町三丁目7-47

広島県情報プラザ内

TEL 082(245)8444

FAX 082(245)4541